添付資料　原文英語

人道支援においてジェンダー平等と女性のエンパワメントを実現するための ネパールの女性団体からの要請

私たち、ネパールの女性団体は、2015 年 4 月 25 日と 5 月 12 日に発生した二つの地震によって引き起こされた悲劇に対し、心からのお悔やみを申し上げます。私たちは、命が失われ甚大な被害が発生したことを深く悲しみ、また避難したり傷ついたりしている人々の生活を憂慮しています。私たちはネパールの人々に支援の手を差しのべる用意があります。

Women's Rehabilitation Center (WOREC Nepal) / SAATHI / Feminist Dalit Organisation (FEDO) / JAGRAN Nepal / Forum for Women Law & Development (FWLD) / Women for Human Rights - Single Women Group (WHR) / Beyond Beijing Committee (BBC) / Media Advocacy Group (MAG) / Sancharika Samuha / HomeNet Nepal

人道支援は、ジェンダーに配慮し、女性固有の実際的かつ戦略的なニーズに応えるべきです。ジェンダーによる差異、不平等、キャパシティを理解することによってはじめて、人道支援全体の効果は向上します。私たちはジェンダー平等の推進と達成に向けて協働しなければなりません。これは人道支援に携わるすべてのアクターが共に担うべき責任です。

女性の代表性の確保とリーダーシップ

人道支援に関する調整においては、女性のグループやネットワークと、正式かつ意味のある協議の場が設けられるべきです。その結果、ニーズ調査、計画立案、優先順位づけ、調整、政策やプログラムの立案と実施がジェンダーの視点を通して実施されるようになります。

復興、救援、回復のための活動は女性の声を反映しなければならず、救援や復興の優先順位を決めるにあたっては、女性も重要なリーダーシップを発揮できます。

女性を専門的な役割や意思決定に関わる役割に配置し、あらゆる人道支援関係者が女性の市民社会グループやあらゆる年齢層の女性たちと協議するようのしてください。その際には、女性世帯主のように支援が届きにくい女性たちや、障害者や高齢者など危険にさらされやすい女性たちも含めるようにしてください。

食糧、シェルター、持続可能な生計手段の確保

ニーズ調査に際しては、あらゆる年齢層の女性および男性と協議しなければなりません。集められたデータは性別・年齢別に集計し、男性や少年たちだけでなく女性や少女たちのキャパシティやニーズをも明確にしなければなりません。

女性が男性と等しく食糧やシェルターにアクセスできるよう、食糧や水や衛生に関わるプログラムの計画策定や配布に女性が参加できるようにしてください。その際には農村地域や避難民キャンプで生活している女性やその家族も含めてください。

女性たちがいかなる意思決定や協議の場にも参加するようにしてください。そして女性たちに生計手段や収入向上の機会が提供されるようにして下さい。その際、女性たちのニーズや状況、キャパシティに応じて活動が行われるよう、女性たちと直接協議してください。

地域の女性グループに今すぐに資金的な支援を提供してください。その際には、地域の被災者とすでに活動していて地域に関する知識を持ち、コミュニティの成員すべての優先的なニーズを素早く特定できるリソースを持っている女性の市民社会組織を含めてください。

女性や少女に対する暴力の予防

ジェンダーに基づくあらゆる暴力を防ぐための手段を今すぐに講じてください。その際、災害発生後に急速に増える傾向にある性暴力に注意してください。特に最も高いリスクを負っている思

春期の少女たちを保護するために行動してください。

女性の課題に確実に対応できるように、制度や規則/政策および法的な枠組みを見直してください。

村やコミュニティ単位で、女性たちに、保健サービスに関する新規または振り返りの研修を実施してください。その中には保健教育、出産、母子保健に関する事項を含めてください。

女性のための特別プログラム
女性のための事業を支援する基金の設立を求めます（そこでは障害を持つ女性たちのアクセスに関する課題を優先的に取り扱ってください）。そしてそのような基金のマネジメントや資金配分において女性組織が公的な役割を果たせるようにしてください。

性と生殖に関わる、女性や思春期の少女たちに特有のニーズ（たとえば生理の間に必要とされる衛生用品や、トイレ用の椅子、車椅子、尿袋など産後に必要とされる物）や、障害者や高齢者の女性に特有のニーズに応えてください。

女性グループとの調整をシステムの中に取り入れ、制度化することは、救援復興活動のあらゆる段階において重要です。どのようにリソースを確保するか、開発援助団体と慎重に検討することも必要です。

救援復興段階におけるジェンダー配慮ガイドラインを策定し発行してください。

政府は、ジェンダー別に集計された国内避難民に関するデータに基づき、ジェンダー・ニーズ調査を行い、意思決定プロセスや再分配のための戦略を策定する必要があります。

政府や開発援助パートナー団体や市民社会組織による物資やサービスの配付および社会保護プログラムにおいて、女性は男性と対等に考慮される必要があります。

救援復興プログラムの効果のモニタリングに際して女性団体が積極的な役割を果たせるようにしてください。

適切な意思決定ができるように、有意で継続的でタイムリーな情報に女性たちがアクセスできるようにしてください。